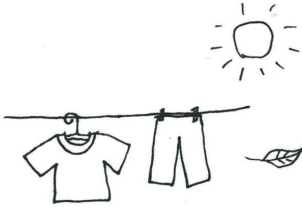


洗濯の前に選択だ！

あちゃ～、やっちゃった、...



肌にやさしくて、環境にいい洗剤って？

ナチュラル派のみなさま、洗濯用洗剤って何をお使いですか？

石けんは確かに安全性が高いですが、使い方が難しいのが困ったところ。その日の汚れ具合、水温などあらゆる条件を考慮し適量を使うと抜群の洗浄力を発揮しますが、石けんカスが残ったり、洗濯槽が汚れたり初心者には挫折しがちなもの。

石けん以外で「肌にやさしくて、環境にいい洗剤って他にないのだろうか？」という、命題を自ら突きつけたはいいいものの、いやはやこれが難題でした。結論を言ってしまうと、やはり「石けん」に軍配が上がります。ただ合成洗剤にも色々あって、どれが最良なのかを選ぶのが非常に難しく、悩ましい。かくいう我が家では、今回紹介する合成洗剤をなかなか良いものとして、使っていますが、石けん使用の達人への道もいずれば避けて通れぬ道と思っています。

今回の記事を、皆さんの洗濯ライフの参考にしてもらえると幸いなのですが、...

「石けんと合成洗剤」の違いについて

石けんは動植物の油脂とアルカリ(水酸化ナトリウムorカリウム)を反応させて作るもので、「脂肪酸ナトリウム」または「脂肪酸カリウム」と呼ばれる「界面活性剤」です。で、これらは「純石けん分」と表示することができて、純石けん分以外の界面活性剤を使っている洗剤は「合成洗剤」又は、「複合洗剤」と表示されます。なので、一般的なアオックのような洗剤も、植物由来の安全性の高い界面活性剤を使用しているとしても、まとめて「合成洗剤」に分類されます。

ただし、合成洗剤で使用される界面活性剤には多くの種類のものがあり、その中には非常に毒性の強いものや、使用後に分解されにくい環境に悪影響を与えるものがあるので、そここのところに注意が必要なのです。(※注釈:界面活性剤の作用とは、水と油(汚れ)の境界面を活性化させて分離させ、それによって汚れを落とすものです。)

肌にやさしいのはどっち？

結果的には「脂肪酸ナトリウム」または「脂肪酸カリウム」が成分の「石けん」がいちばん肌に優しいとされています。

一般的な洗濯用洗剤には、「洗浄・殺菌・漂白作用」の3つの効果を出すために化学物質が使用されています。洗浄作用には界面活性剤が、また生乾きを防ぐための殺菌作用には別の化学物質が、漂白作用に対しては蛍光増白剤と呼ばれる有害化学物質が使用されている場合があります。

なので、「石けん」ではなくて、合成洗剤を使うのであれば、せめて蛍光剤や漂白剤などの化学物質が使われておらず、かつ界面活性剤も皮膚障害に対して影響の少ないとされているものを選ぶ必要があります。

ナチュラル派な私、環境にやさしいのはどっち？

石けんを使うと生活排水に有機物が増加して合成洗剤の3倍も下水処理に負荷をかけるとも言われています。でもこれって数字の上だけのこと。水質汚染の原因は石けんの使用よりもっと他にいろいろあって複合的です。それよりも、石けんを使うことで環境のことを意識したり、化学物質について考えたりということの方が重要だと思います。

合成洗剤の場合、界面活性剤が植物由来か石油由来かに分かれ、植物(やし油が多い)由来のほうが生分解性が高いので、環境に残りにくいようです。大手メーカーでは製造コストを最優先させるので、石油を原料とした界面活性剤に頼る傾向がありますが、環境的には非常なリスク。なので、ナチュラル派でいくのであれば、まずは石けん。でなければ、「植物由来の界面活性剤」かつ、生分解性に優れた「界面活性剤」を選ぶ必要があります。

さて今回ご紹介する洗剤とは？



「オーガニック洗剤・スピカココ」(合成洗剤) ¥924/1.2kg

まず、「オーガニック洗剤」ってなんやねん？オーガニック検査員だった店長として、このフレーズがず～～と気がかりでしたが、これは、スピカコーポレーションさんの登録商標。意味としては「刺激性化学物質を含まず、人間中心の発想を転換させながら全ての生命体と共生できる洗剤」とのこと。

そう、オーガニックという言葉は何も食品だけのためのものではなく、もっと深遠なもの。スピカさんの思いの深さが表れているのです。

→さて、この洗剤。おすすめのポイントはというと。

●環境への負荷がより少ない

主成分はヤシ油由来(植物性)の「脂肪酸アルカノールアミド」で、界面活性剤の中では安全性も生分解性も石けん近く、化粧品の基材に使用されるほど。また成分のひとつである、「アルキル硫酸エステルナトリウム」もヤシ油由来で生分解性は石けんについて高い。

さらに、これら界面活性剤の含有量が通常の洗剤の半分以下。

上記2つの生分解性に優れた成分のおかげで、排水後は微生物により、7日でほぼ完全に分解するという、データが出ています。

●皮膚への安全性がより高い

最大の特徴は刺激性化学物質を含まないこと。この物質は、繊維の構造に潜り込んで残留し、人の皮膚に様々な影響を与えることがあります。これが皮膚に付着すると、皮膚の角質が弱くなり、抵抗力を失うなど、皮膚を痛める原因となる可能性があります。スピカココは、こうした刺激性化学物質を含まない、パッチテスト(皮膚一次刺激性試験)済みの、安全性の高い洗剤なのです。もちろん、蛍光漂白剤、香料などその他の添加剤は配合していません。

(あつこの使用感想)現在使用中ですが、すっきり洗える感じがいいです。なるほど残留率が少ないかなと。手洗いすると洗浄力の強さを感じます。使用量も少ないので経済的。現在も店で扱っている「エコベール」も素晴らしい商品ですが、ベルギー産、詰め替えがない、というのが少々気になっていました。しかし、石けんを洗濯にうまく使うというのも現在勉強中。いつかこちらでご報告したいと思います。